

4年生 社会 「災害からまちを守るために」 ① 教科書 p.20～21

めあて

火事について、資料からわかることをまとめよう。

1. 教科書 p.20 ア、p.21 の絵(イラスト)を見て、気付いたことや、考えたことをノートに書きましょう。

(例) 消防車だけでなく、救急車もかけつけている。

4～5こ書けると、GOOD！
もっと気付いたたことがある人は、
できるだけ多く書こう！
→気付いたことから、考えられることはないかな？

2. p.21 ウ・エ・オのぼうグラフを見て、気付いたことや考えたことをノートに書きましょう。

(例) ウのグラフを見ると、火事は減っているわけではない。増えたり、減ったりしている。

グラフは、火事の件数やけがの人数を、一目で見て
分かるようにしたものだね。
数はどうなっているかを見ると、考えやすいよ！

3. 家の消防用設備しょうぼうようせつびについて調べよう！どんな役わりかも考えられるといいね。お家の人に聞いても OK！

みんなは、絵(イラスト)とわかればその名前や特ちょうをノートに書こう。

※消防用設備しょうぼうようせつびというのは、火を消すためのものや、火事を知らせてくれるものなどのことをいう。

ちなみに石井先生の家には…こんなものがありました！



絵が苦手だな・・・という人は写真にとっても OK！

めあて

火事が起きたとき、消防署はどのような仕事をするのだろうか。

1. 消防署について、みんなはどれくらい知っているかな。問題に答えよう。

教科書を見てOK!

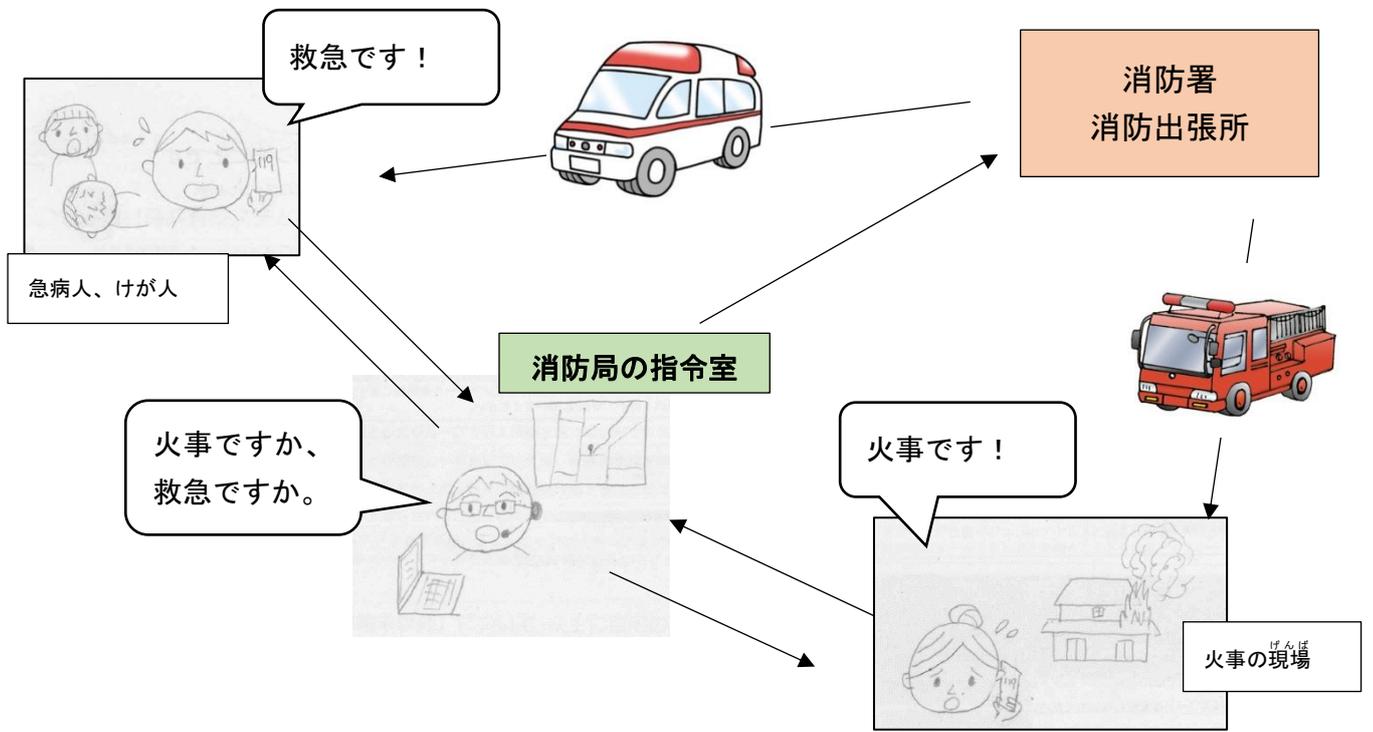
- ① 火事が起きたとき、電話するのは()番です。
- ② 消防車の色は、()が多い。

警察は110番...

- ③ 急病人きゅうびょうにんやけが人がいたときに電話するのは()番です。

〇〇車のサイレンの音はとくちょう的だよね。

- ④ 急病人やけが人がいると通報つうほうがあった時には、()が来る。



2. 上の図や、教科書 p.22 のイ・119番のしくみを見ると、119番の電話はすべて()の()で受けています。そこから、消防署に連絡をしたり、関係しているところに電話をしたりしています。()に入る言葉を入れましょう。

ちょっと一息

世界最古の消防隊は、西暦前17年(今から2037年前)にローマ帝国でつくられたものだそうです。なんとこのときから、ホースや救助マットがあったのです。

さて、日本はどうでしょう。有名なのは江戸時代(今から200年くらい前)の町火消しです。時代劇でもたびたび取り上げられます。歴史という目で消防隊を見るのもおもしろいですね。

めあて

消防署の人の一日について、調べよう。

1. 消防隊員とみんなの一日をくらべてみよう。

	消防隊員の一日	みんなの一日
8:00	しゅっきん 出勤	
8:30	・前日から勤務した人と交代 ・車両や器具の点検	
9:30	仕事の報告書や訓練の計画書の作成	
12:00	昼食	
13:00	消火や救助の訓練	
15:30	小学校でひなん訓練の指導	
17:30	夕食	
19:00	出勤のしかたについての意見交換、 トレーニング	
22:00	交代ですいみんをとりながら、勤務	
6:00	・起きて、そうじをする ・車両や器具の点検 ・朝食	
8:00	次に勤務する人が来たら、仕事の内容を報告	
8:30	・退勤 ・次の日の8:00まで休み	

2. 表の黄色の部分を見ると、いつでも出勤に備えていることがわかります。ほかに、仕事の工夫はありますか。ノートに書きましょう。教科書 p.24 の消防署の人の話も参考にしてください。

3. 防火服のとくちょうを3つあげましょう。

()、()、()

4. 学習感想